

いつでも  
どこでも  
どなたでも  
良質で安心安全な柔整施術を  
受けて頂く為の

## 日整水準

- 骨折・脱臼患者の取り組みと「匠の技」 -

# 2020

公益100周年記念事業「匠の技 伝承プロジェクト」  
ケガは接骨院（整骨院）へ

日本が認めて百年の資格  
柔道整復伝統の技術

匠の技 伝承プロジェクト

公益社団法人 日本柔道整復師会は、  
「匠の技 伝承宣言」をするものである。

工藤 健男

公益社団法人  
日本柔道整復師会



公益社団法人

# 日本柔道整復師会



### はじめに「匠の技 伝承」プロジェクトについて

日本柔道整復師会は、柔道整復施術の根幹である骨折や脱臼の整復・固定の技術をさらに高め、次世代にその技術を繋げようと、柔道整復術公認100周年事業として「匠の技 伝承」プロジェクトを立ち上げました。「匠の技 伝承」プロジェクトは単なる技術のみの伝承が目的ではありません。柔道整復師の信頼を更に深めるための原点回帰への大切な事業です。患者さんである国民の皆様にも良質で安心安全な柔道整復施術を受けて頂くために、骨折、脱臼の整復・固定技術の正しい継承と、超音波画像観察装置の全施術所導入を目指します。内容としては、骨折・脱臼の発生機転やメカニズムの理解、整復・固定技術の理解と実践、超音波画像観察装置の正しい取扱いと、エビデンスに基づく読影の習得をメインとしています。日本古来の伝統医療である「柔道整復術」と、科学的な根拠として参考とする超音波画像観察装置での確認を合わせることで、これからの時代に即した柔道整復施術のあり方を模索して参ります。

## 今後の社会構造や経済の動向を見据えて

厚生労働省の統計によると、2018年時点で接骨院、整骨院、マッサージ院、鍼灸院、整体院などは全国に計14万765件の存在を確認しています。これは、全国に広がるコンビニエンスストアの店舗数(19年3月時点で5万5,695店舗、日本フランチャイズチェーン協会調べ)の2.5倍以上にもなり、競争の激化を示しています。

柔道整復師は、国が定めた教育カリキュラムで学び、国家試験に合格すると厚生労働大臣免許を得ます。この国家資格により、施術には健康保険や生活保護法による医療扶助、労災保険や自賠責保険が適用されるわけですから、「外傷をしっかりと扱う」という旗印のもと、地域医療を担う施術者としての原点回帰が必要であると考えられます。

少子高齢社会により1億総活躍社会という言葉が言われて話題となっています。多くの65歳以上の人が働いています。この年齢となると体力や気力が落ちていく中で労働を継続する為には、予防も含めた基礎体力作りや運動機能の維持についてのアドバイス、訓練や指導を行う必要性が増してきます。廃用性やフレイル起因の疾患が増える中、患者さん個々の生活スタイルに合わせ、更に高齢労働者のケアについても十分考慮する必要があります。

では子供たちはどうかと言うと、2016年より幼稚園から高等学校までの期間、運動器検診の実施が義務化されました。そのような中、先行研究として2005年から「運動器検診体制の整備・充実モデル事業」が開始され、2010年には10の道府県で実施された結果、約10%の子どもに運動器疾患が疑われ、更に、バランス能力、柔軟性をチェックする4つの基本動作のうち、1つ以上できない子どもの比率は約40%に達したとの驚きの報告がされています。つまり、成長期の子どもの運動器機能不全、「子どものロコモ」が進行中という結果が出てしまったわけです。電化製品が発達・普及して、家事の手伝いや体を動かす機会が減少していることや、保護者の意識も危険性を伴う遊びをさせなくなったこと、汚れることを嫌う傾向が見られること等も影響しているかもしれません。そういう子ども達に手を差し伸べることができるのも、われわれ柔道整復師であると思います。

ここにも、地域で気軽に相談できる接骨院は運動器のエキスパートとしてのニーズがあります。

負傷の男女別件数表

区 分	負 傷		
	合 計	男	女
小 学 校	332,115	203,734	128,381
中 学 校	313,038	182,548	130,490
高 等 学 校 等	237,097	146,621	90,476
高等専門学校	2,187	1,868	319
幼 稚 園	16,726	10,345	6,381
幼保連携型認定こども園	8,395	5,162	3,233
保 育 所 等	36,504	22,247	14,257
合 計	946,062	572,525	373,537

参考：学校の管理下の災害 [平成 30 年版]

子どもの骨折はこの40年で3倍



参考 林 承弘.子どもロコモと運動器検診について.日整会誌.Vol.91:338-3444.2017

## 統計に見る柔整業界の現状

### ■全国の施術所数と療養費の総額

では実際に、柔道整復師業界としての現状はどうでしょう。施術所数や療養費の推移から見てみます。柔道整復師の就業者数や施術所数は、全国的に見て増加していることがわかります。

#### 就業者の年次推移

就業者数	平 20 年 (2008)	22 年 (2010)	24 年 (2012)	26 年 (2014)	28 年 (2016)	30 年 (2018)	対平成28年 増減数・率(%)	
あん摩マッサージ指圧師	101,913	104,663	109,309	113,215	116,280	118,916	2,636	2.3
はり師	86,208	92,421	100,881	108,537	116,007	121,757	5,750	5.0
きゅう師	84,629	90,664	99,118	106,642	114,048	119,796	5,748	5.0
柔道整復師	43,946	50,428	58,573	63,873	68,120	73,017	4,897	7.2

6,482      8,145      5,300      4,247      4,897

注:平成 22 年は、東日本大震災の影響により、宮城県が含まれていない

#### 施術所等数の年次推移

施術所	平 20 年 (2008)	22 年 (2010)	24 年 (2012)	26 年 (2014)	28 年 (2016)	30 年 (2018)	対平成28年 増減数・率(%)	
あん摩マッサージ指圧	21,092	19,983	19,880	19,271	19,618	19,389	△ 229	△ 1.2
はり・きゅう	19,451	21,065	23,145	25,445	28,299	30,450	2,151	7.6
あん摩マッサージ指圧、 並びにはり・きゅう	35,808	36,251	37,185	37,682	37,780	38,170	390	1.0
その他	2,892	2,693	3,103	2,862	2,739	2,679	△ 60	△ 2.2
柔道整復師	34,839	37,997	42,431	45,572	48,024	50,077	2,053	4.3

3,158      4,434      3,141      2,452      2,053

注:平成 22 年は、東日本大震災の影響により、宮城県が含まれていない

平成 30 年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況 政府統計より

ただし、増減数で見ると、2012 年以降の伸び率はともに減少傾向を示しています。施術所数が大きく伸びていない点を考えると、開業せずに勤務柔道整復師や機能訓練指導員として接骨院、介護施設や病院などで働く柔道整復師が増えていることなどが示唆されます。

### ■日整会員数と療養費の総額の推移、平均給付額

次に、日整会員数及び会員一人当たりの件数と金額の推移を見てみると、会員数や 1 件当たりの平均件数や給付額も減少傾向にあります。

	会員数	給付額	件数	1 人当り 平均給付額	1 人当り 平均件数	1 件当り 平均給付額
平成 26 年	16,669 人	140,167,113,007 円	18,340,734 件	8,408,850 円	1,100 件	7,642 円
平成 27 年	16,305 人	134,824,924,672 円	17,839,055 件	8,268,931 円	1,094 件	7,558 円
平成 28 年	16,056 人	127,106,417,462 円	17,088,263 件	7,916,444 円	1,064 件	7,438 円
平成 29 年	15,852 人	118,850,963,135 円	16,185,107 件	7,497,537 円	1,021 件	7,343 円

平成 30 年度 柔道整復療養費及び施術料金の実態調査より

■これらの統計から考える事

柔道整復師の就業者数や施術所数は、全国的に見て増加していますが、伸び率は減少傾向にあります。収入の安定化を求めて介護施設や病院勤務へ流出している柔道整復師も一定数いるようです。では、柔道整復師が開業して、安定的に経営を進めていく為にはどうしたらよいか以下の項目を検証していきます。

- ・取り扱う疾患割合の見直し
- ・外傷を治す技術としての日整水準と「匠の技」
- ・骨折・脱臼の整復法について
- ・患者さんのファーストチョイスとなるために
- ・信頼される接骨院になるために
- ・接骨院を知ってもらうために
- ・満足される結果を出すためには

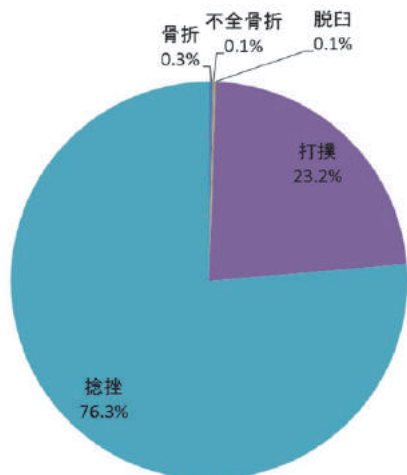


■療養費から見た現在の柔道整復師の疾患割合

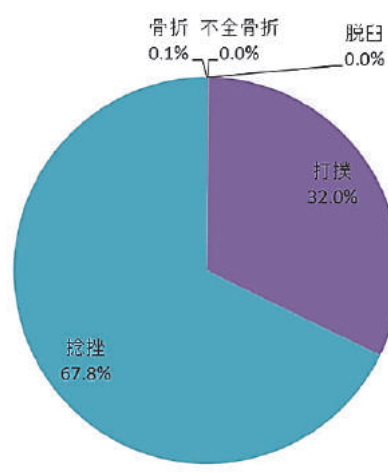
厚生労働省の資料によると、柔整療養費の疾病別内訳は、捻挫や打撲の施術が療養費のほとんどを占めており、骨折、不全骨折、脱臼の合計は全体の 0.1%に過ぎない状況としています。この数値だけ見ると柔道整復師が、骨折や不全骨折、脱臼をほとんど扱っていない印象となります。公社茨城県\*の 2019 年度を部位数割合で見ると、骨折 0.9%、不全骨折 0.1%、脱臼 0.1%となります。これを実数で言えば、**骨折 5,107、不全骨折 566、脱臼 806 部位**となり、公社茨城県の施術所だけでも、**年間 6,479 部位の骨折・不全骨折・脱臼**を施術していることがわかります。公社茨城県だけ見ても、これだけの数の疾患を施術しており、骨折・不全骨折・脱臼に対する柔道整復師の社会的貢献度は大きいものです。

しかしながら、柔道整復師の本来の技能と国家資格としての優位性を活かすためには、さらに多くの骨折・不全骨折・脱臼を扱うことを目標とすべきです。非観血的治療は、患者さんへの負担も少なく、増加する高齢者や子どもたちの怪我を安心安全に施術できるのがわれわれ柔道整復師の長所だからです。

\*公社茨城県：公益社団法人茨城県柔道整復師会



【平成13年10月】



【平成26年10月】

※ 以下の抽出率にしたがい抽出した柔道整復療養費支給申請書を基に分析

- ・国民健康保険 1/10
- ・老人医療制度 1/10
- ・政府管掌健康保険 1/25
- ・国民健康保険 1/60
- ・後期高齢者医療制度 1/10
- ・全国健康保険協会管掌健康保険 1/30

厚生労働省資料:柔道整復の施術に係る療養費関係より

## 骨折・脱臼患者への取り組み「匠の技 伝承」プロジェクト



### ■現状の疾患割合からの脱却

「匠の技 伝承」プロジェクトでは、これまで6回の講座を実施して来ました。COVID-19の影響により、参加者の皆様の安全と感染拡大防止を考慮して中止した講座もありましたが、今後も情勢を鑑みながら継続して参ります。まだ先の見えない状況ではありますが、われわれの改革はすでに走り出しています。

### これまでの「匠の技 伝承」プロジェクト

第1回	2019/4/7	肘関節の脱臼	高崎 光雄	東京都柔整会館
第2回	2019/5/26	前腕骨の骨折	富永 敬二	東京都柔整会館
第3回	2019/8/4	手根骨・中手骨・手の指の骨折	渡辺 一民	東京都柔整会館
第4回	2019/9/29	肩甲上腕関節の脱臼	田邊 美彦	東京都柔整会館
北海道講座	2019/11/10	鎖骨の骨折	萩原 正和	北海道柔整会館
第5回	2020/1/12	下腿骨外果骨折	山口登一郎	東京都柔整会館
第6回	2020/2/23	手の指の脱臼	高崎 光雄	東京都柔整会館 (COVID-19により中止)
福岡県講座	2020/3/1	前腕骨の骨折	富永 敬二	福岡県柔整会館 (COVID-19により中止)

第1回-第5回 超音波観察装置「エコーの匠」佐藤 和伸

### ■外傷を治す技術としての「匠の技」

われわれの身体には個体差があり、それぞれの時代の生活様式があり、更には身体の部位は左右均等に使いわけている訳でもありません。つまり、それぞれの患者さんのその時の状況に合せた施術方法が適切に選択され、優先されることが大切となります。ここでご紹介する匠の技は、長年、各施術所独自の治療法として伝承され研ぎ澄まされてきました。敢えてその一端をご紹介したのは、冒頭にあるように患者さんが「いつでも どこでもどなたでも」良質で安全な柔道整復術を受けられるようにするためです。すべての柔道整復師がこのプロジェクトに参加し、独自に伝承されてきた様々な施術方法を掘り起し、科学的な根拠にもとづいて検証していくことで、すべての柔道整復師がその技術を共有し、また、発展させていく基盤になればと考えているからです。

### ■橈骨遠位端部骨折一人整復法より抜粋

#### 【整復前に注意・確認すべきこと】

- ① 患肢の指輪などを外す
- ② 既往歴の有無を確認する
- ③ 神経・循環障害のチェックを行う
- ④ 骨片転位の方向を触診にて確認する
- ⑤ 整復位が保持できていることを確認する
- ⑥ 固定材料をあらかじめ計測し作製しておく

#### 【整復法の肢位】

- ① 患者の肢位は背臥位にし、呼吸がしやすいようにズボンのベルトなど身体を拘束するものを外し、衣類を緩める
- ② 患肢の上腕を約40°～50°外転させる
- ③ 上腕を覆う幅に折りたたんだバスタオルを、その両端がベッド上に平坦になるようにして上腕に掛ける
- ④ 術者はベッド上に乗り、患者さんの顔を見ることができるよう患肢をまたぐ
- ⑤ 患肢に掛けたバスタオルの両端に術者の両足を乗せ、患肢が動かないように固定する
- ⑥ 術者は膝関節を軽度屈曲位、体幹を前屈位とする
- ⑦ 牽引する際には、両手が患肢の橈側を持つ手にラテックス手袋を装着すると、患肢の脂汗で滑るのを防ぐことができる



【短縮転位の整復法】

- ① 患肢の肘関節は 90° 屈曲位として、指尖を上方に向け牽引する
- ② 遠位骨片を含む手関節を橈側と尺側の両側から包むようにして把握する
- ③ 遠位骨片は橈屈しているため、牽引方向はやや尺側となる。

【患者さんの呼吸法】

- ① 一気に牽引を行わずに、患者さんに深呼吸を指示しながら牽引する
- ② 呼気時に牽引し、吸気時には牽引を止め、これを 3~4 分程繰り返す

【前腕回旋転位の整復法】

- ① 末梢牽引を継続しながら患者さんの前腕を回内する

【前後面の整復法】

- ① 背屈する時は両母指の位置を支点とし、掌屈する時は両示指の位置を支点とする
- ② 患者さんの呼気時に、末梢牽引を継続しながら遠位骨片の背側の近位端に両母指を当て支点とし、遠位・近位両骨片の背側面が整合するまで押し込むように背屈する
- ③ 患者さんの呼気時に、末梢牽引を継続しながら近位骨片の掌側の遠位端に両示指を当て支点とし、掌屈尺屈する

■ 肩関節脱臼より抜粋

【前方脱臼の治療】

- ① 整復は骨頭が関節窩から外れた経路を逆に戻していくようにすればよい
- ② 整復操作は周囲組織の損傷を広げることや、骨折を起こさないように心掛けなければならない（二次損傷への注意）
- ③ 患部の緊張をとるには疼痛に対する恐怖感を取り除くことが重要で、術前の呼吸法や術者との対話が大変役に立つ

【前方脱臼の整復操作】

- ① 整復は末梢に牽引し筋肉の緊張をとり、次に転位を除く
- ② 脱臼を起こした経路を逆に行い、反対槓桿作用により上腕骨骨頭を関節窩に整復する
- ③ 操作は徐々に愛護的に行う
- ④ 整復法の選定は重要であり、一つの方法に熟達することも重要であるが、関連する整復法や技法の習熟も必要である

【肩甲上腕関節脱臼各種整復法】

種類	患者肢位	操作	名称
1.牽引法	仰臥位	牽引+上腕内転+内外旋	牽引法
2.槓桿法	仰臥位(座位)	牽引+内転	Copper 法 Hippocrates 法
3.逆コース法	座位(仰臥位)	牽引+内転+外旋+前方拳上+内旋	Kocher 法
4.拳上法	仰臥位	上肢拳上+上方牽引	Mothe 法
5.直圧法	仰臥位	水平拳上+牽引+骨頭圧迫	直圧法
6.吊り下げ法	腹臥位	上腕下垂	Stimson 法

## 骨折・脱臼患者への取り組み 「匠の技 伝承」プロジェクト

### 【牽引法】

- ① 仰臥位または座位で患肢を長軸方向に牽引
- ② 肘関節 90° にて牽引を継続しながら上腕を内転位に移動させる
- ③ 上腕の内旋・外旋を緩やかに繰り返す
- ④ 絶対に急激な牽引は避け、ゆっくりと持続的に行う

### 【槓桿(こうかん)法】

- ① 仰臥位で患肢の腋窩に術者の踵部を当てる
- ② 患肢を持ち反対牽引を行うと同時に、母趾で脱臼した上腕骨頭を内方に圧迫しながら患肢を軸方向に牽引する

### 【逆コース法】

- ① 仰臥位か座位にて軽度外転位の上腕を長軸上に末梢牽引し側胸壁に接近させる
- ② 末梢牽引を継続しながら上腕を外旋し、前胸壁を滑らせるように肘を正中面に近づけ(内転)屈曲(前方拳上)する上腕を内旋し整復する

### 【拳上法】

- ① 患者座位で術者は後方に立ち、患肢を垂直に拳上し強く牽引して整復
- ② 或いは助手に患肢を拳上させ、術者は両母指で骨頭を関節窩に押し込み整復する

### 【直圧法】

- ① 助手に患肢を水平まで拳上させ末梢に牽引
- ② 術者は手を腋窩に入れ両手で骨頭を関節窩に向かって圧迫する
- ③ 圧迫時に患肢を前下方に下げさせると容易に整復される

### 【吊り下げ法】

- ① 腹臥位にて患肢をベッドの端から下垂させる
- ② 術者が牽引するか、10 kg程度の重りをつけ持続牽引することで整復される

1920 柔道整復術 公認

〈襷を繫いで〉

2020 公認 100周年

公益社団法人 日本柔道整復師会は  
新たな100年に向けて

匠の技 復活宣言



## 骨折・脱臼患者への取り組み 「匠の技 伝承」プロジェクト

### ■匠の技と超音波画像観察装置

これまでの「匠の技 伝承」プロジェクトでは、その時のテーマに併せ、超音波画像観察装置の使い方や観察法、読影に必要な解剖の解説などを実施しています。参加者が施術者役と患者役となり、整復法や固定法とも関連付けながら解りやすいようにグループワークが進められています。



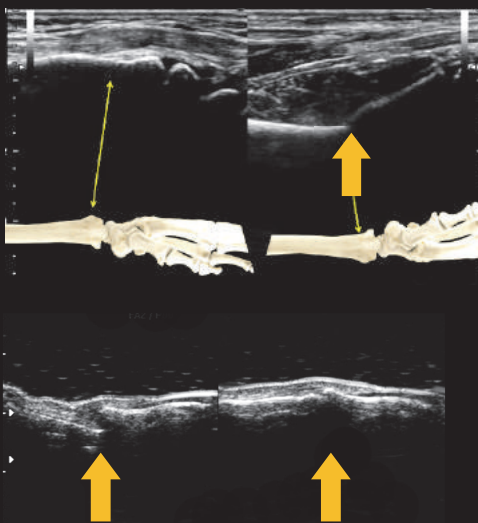
### ■運動器の超音波観察法の注意事項として

運動器の超音波画像観察の場合、比較的浅い部分の観察が多い為、焦点距離を補う意味で音響カプラ（ゲルパッド）などを利用するか、多めにゲルを塗布することが推奨されます。これは、体表の凹凸を補う役目として、動態観察時にも良好な画像を描出することができます。また、プローブの持ち方は先端を保持し、残った指で患者さんに触れ安定させます。それでも安定しない場合や更に安定させる場合には、積極的に両手で支えます。プローブは精密部品で構成されている為、落としたりぶつけたりしないように取り扱いには十分注意をします。

超音波画像観察装置は安全性の高い観察装置ですが、通常使うリニアプローブの禁忌事項として「眼球への使用」があります。運動器の観察ですからそのような事はないと思いますが、眼球には眼球専用の超音波画像診断装置があり、通常の装置は禁忌であることを覚えておきましょう。



超音波のプローブは先端を持ち、残った指を支点にして保持します。プローブの接触面を支点とすると安定せず無用に押し付ける事となりますので注意が必要です。超音波は患部との間に空気層が入らなければ描出できます。



### 参考画像

#### 小児橈骨のスミス骨折の超音波観察画像

左：背側 右：掌側

スミス骨折様の画像を観察し、リストー結節は掌側に屈曲し掌側からの走査では、屈曲変形は著明となり、血腫と思われる低エコー領域を観察する

#### 手指 DIP 関節の脱臼整復前後の超音波観察画像

左：整復前 右：整復後

整復前の骨の線状高エコーは、逸脱している。脱臼に伴う剥離骨折等の小骨片に注意

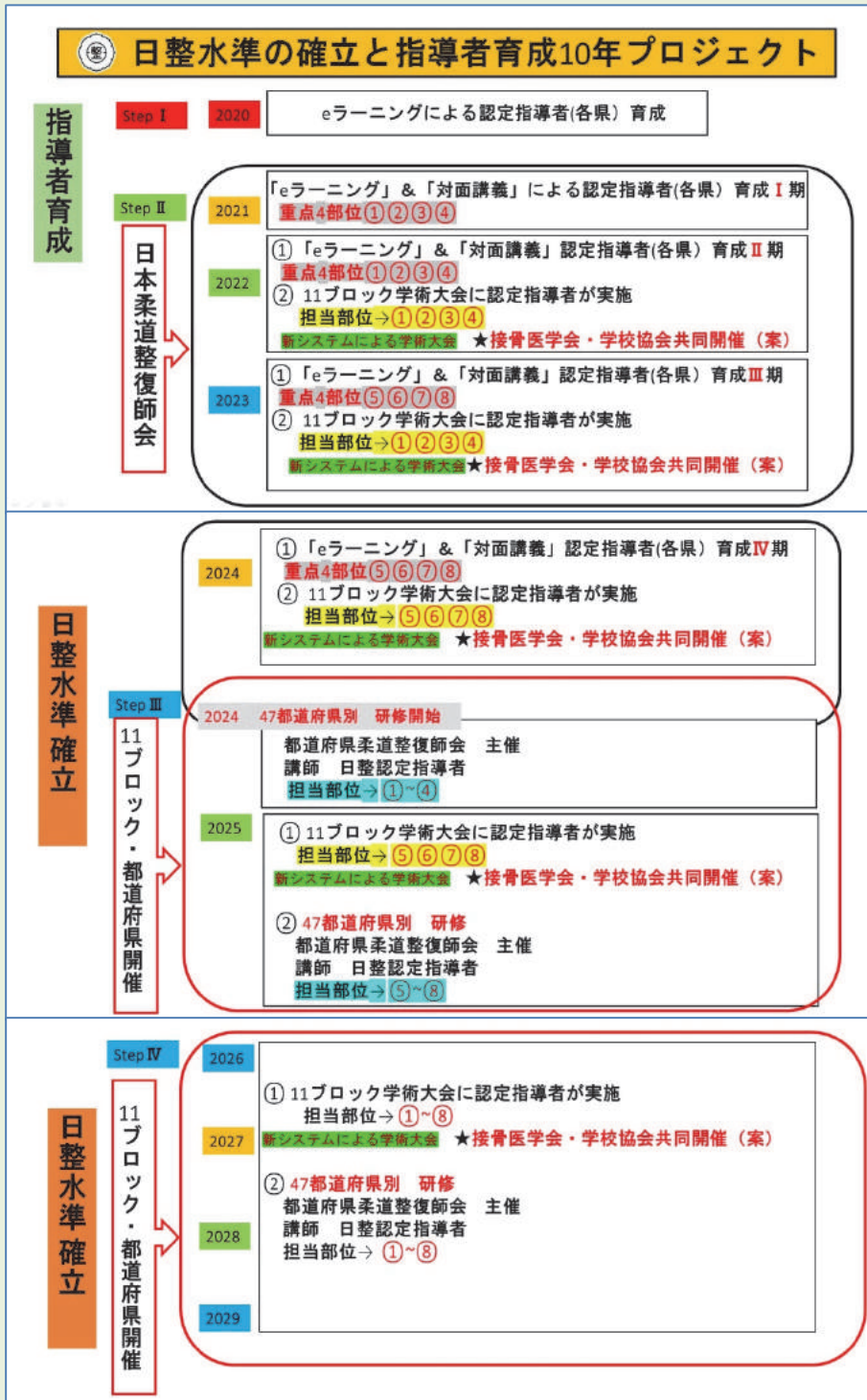


# 骨折・脱臼患者への取り組み 「匠の技 伝承」プロジェクト

## ■今後の「匠の技 伝承」プロジェクトについて

コロナ禍で感染拡大防止の観点から「三密」を避けるために 2020 年度「匠の技 伝承」プロジェクトの集合・対面講座は行いません。2020 年度中に e ラーニングシステムを構築します。このシステムにより自宅や施術所など自由な場所、時間にスマートフォンやタブレット等マルチデバイスで対象講座の骨折・脱臼に関わる基礎的知識が閲覧出来るようにします。この e ラーニングシステムと集合・対面講座の組合せで効率的かつ高い学習成果が期待され、将来的には地区別、都道府県別の講座もこの2つの組合せで行う予定です。

\* e ラーニングシステムとは、インターネットを介した学習形態です。



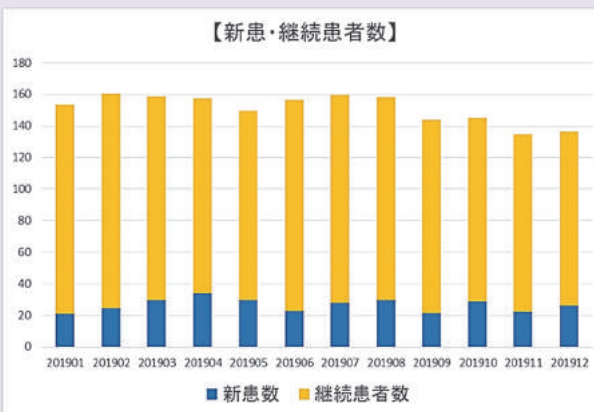
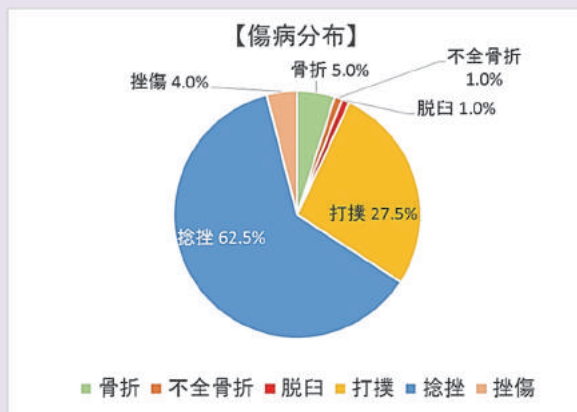
## 外傷患者さんのファーストチョイスになるために 1

### ■ 身近な運動器のエキスパートであること

- ・敷居が高くなく、運動器関係について何でも気軽に相談できる、頼れる接骨院を目指しましょう。
- ・非観血的治療の良さをアピールし、その長所をわかりやすく説明して知ってもらいましょう。
- ・これから増加する高齢者の運動器疾患と、成長期の子供の口コモ対策にも目を向け、患者さん個々の生活スタイルに合わせて適切な指導やアドバイスができるように心掛けましょう。

### ■ 現状把握のため、レセプトシステムの統計機能を活用

- ・新患数や外傷の具体的な目標を設定し、結果を月単位に分析しましょう。
- ・施術者であり経営者であることも忘れず、分析結果をもとに改善に努めましょう。



### ■ 信頼される接骨院になるためには

- ・「患者の視点からみた医療不信とコミュニケーション」という研究論文の中に、信頼される医師の条件上位 21 項目という統計があります。「医師」を「柔道整復師」に置き換えて考えてみてください。大変参考になります。

1. 医師が治療の選択についての十分な情報を与えること
2. 治療に関して、医師の腕が優れていること
3. 医師が分かりやすく説明すること
4. 医師が治療に関するいろいろなアドバイスをしてくれること
5. 医師は治療方針を説明した後に、説明した内容がわかったかどうか確認してくれること
6. 医師が一人の人間として、私のことを尊重してくれること
7. 医師が必要なら他の専門病院を紹介してくれること
8. 医師は私の病名や症状などの医学情報を無断で他の人に漏らさないこと
9. 医師は私の質問に良く応えてくれる
10. 医師が専門家であることに自信をもっていること
11. 医師が私の気持ちの不安に注意をはらい配慮を示してくれること
12. 医師が私の話を良く聞いてくれること
13. 医師が私の変化によく気がつく（体調、雰囲気、気分、態度）
14. 医師は私が気にかけている医療上の心配ごとをくだらないことだと思ったりしないこと。
15. 医師は私の目を見て話してくれる
16. 医師は頼りがいのある態度で接すること
17. 医師は「共にがんばりましょうね」と声をかけてくれる
18. 医師は私の病気について、家族にもよく話してくれる
19. 医師は清潔な身だしなみであること
20. 医師が親しみやすい雰囲気をもっていること
21. 医師は私の病気に関連する家族の苦しみ、不安などを分かってくれている。

参考資料:宮城恵子, 伊佐雅子. 患者の視点からみた医療不信とコミュニケーション. 日本コミュニケーション学会九州支部『Kyushu Communication Studies』. 2012; 10: 14-36.

## 外傷患者さんのファーストチョイスになるために 2

### ■接骨院を知ってもらうためには

- ・SNS(Web上の社会的ネットワーク)等、スマホやパソコンも有効活用して、情報発信を心掛けましょう。
- ・地域活動に参加して、積極的にボランティアなどの地域貢献に協力しましょう。
- ・患者さんが接骨院を選択された理由を知りましょう(口コミや実績なのか、アンケート等も活用します)。



地域活動やボランティアでのふれあい

### ■超音波画像観察装置を活用し、根拠に基づく確認と施術計画の提示、治癒の評価を

- ・リピート率を向上させるのは、顧客満足度と信頼関係の構築が大切です。
- ・臨床所見を踏まえた上で、施術の参考情報として超音波観察を行いましょう。
- ・骨模型や解剖図も併用して、解りやすい説明を心掛けましょう。
- ・総合所見をもとに施術計画を作成し、解りやすい説明をしましょう。
- ・臨床所見と超音波観察による総合所見により、経過を判断して説明しましょう。

### ■なにより満足される結果を出すためには

十分な対話、共感、思いやりなど、施術者と患者さんのパーソナルな側面が、患者さんの満足度や信頼度には影響しています。先にも触れましたが、施術者が患者さんに対して友好的にふるまい、いたわりを示すことで、患者さんの治療に向き合う参加の意思を促し、満足度を上げる結果となります。その上で外傷としっかり向き合い、日整水準である「匠の技 伝承」プロジェクト等により技術の向上に努め、日々、施術者としての精進を怠らないことです。懸命に治そうと頑張る患者さんの気持ちに寄り添い、伴に向き合っていくことが大切です。患者さんには、施術者のその真摯な姿勢や熱意が伝わります。先ずはそこが施術者としてのスタート位置となります。

更に超音波画像観察装置を活用して、損傷の状態や痛み、機能不全の状態を画像で確認することが大切です。超音波画像観察装置による画像は、生体を動かしながら解剖学的な状況を把握することができる唯一の画像観察装置です。経過観察に於いて、施術内容に対する客観的評価情報にもなり、必要に応じて速やかに施術方法や内容を変更することも可能です。そこには解剖学的な個体差、加齢による組織変性、児童の成長過程の違いも表現されております。



## 最後に 柔道整復師の業とは

冒頭にも述べましたが、柔道整復師の業としての神髄は、非観血的に骨折・脱臼の整復固定が出来るということです。

今から100年前の1920年柔道整復術が公認されたのは、「柔道整復師は骨折・脱臼の整復固定治療が出来る」「柔道整復師はきちんと治す」「柔道整復師は不正をしない」という柔道整復師という職業に対する国民の信用と信頼があったからです。時代の変化に対応し、柔道整復師としての原点回帰をすべき時期としてこのプロジェクトは立ち上がりました。

鑑別的に手術しなくてもよい骨折・脱臼の治療は自宅近くの通いやすい「接骨院」が患者さんの選択肢の一つにならなければなりません。そのためには、確かな鑑別の能力、骨折・脱臼の整復固定の技術を持ち合わせていなければなりません。

ところが、「請求代行業者」や「自称コンサル業者」からの柔道整復師向けの配布物や広告メールには「自費治療」「骨盤矯正」「小顔矯正」など柔道整復師養成施設のカリキュラムにも無いものを掲げ集客を呼び掛けるものがあります。「請求代行業者」や「自称コンサル業者」は全柔道整復師に開かれた「匠の技 伝承」プロジェクトのような10年計画は組み立てられません。柔道整復師を食い物にする業者には注意すべきです。

まず、柔道整復師として骨折・脱臼の整復固定の基本がきちんと出来ることを最優先にすべきです。

自費治療は悪いことではありませんが、柔道整復師として「動機善なりや、私心なかりしか」と何度も自分の心に問いかけることが必要です。

人は往々にして損得を基準に判断して誤る。柔道整復師の業として正しいか否か、良いか悪いかを基準に今、何が優先的に行うべき事柄かを考えていただきたい。



地域活動やボランティアでのふれあい

## 柔道整復シリーズ

### 日整水準

骨折・脱臼患者の取り組みと「匠の技」

2020

Vol.2 2020年9月

発行 公益社団法人 日本柔道整復師会

〒110-0007 東京都台東区上野公園 16-9

電話 03-3821-3511 (代表)

定価 1,000円(税込)

無断転載禁止

ISBN978-4-9911102-4-5

C3047 ¥1000E



9784991110245